

科目名 Class	入学年度 Admission Year	開講学年・学期 School Year, Semester	単位数 Credit	必・選	授業担当者 Instructor
国際経営論	共通 経営情報学 科	3・4年生・前期	2単位	選択	甘 長青
履修の前提条件	①企業のグローバルな経営活動、経営学を学ぶことについて興味・関心を持っていること、 ②配布資料・参考書の予習・復習にしっかり取り組むこと、などが履修の前提条件。 ※禁止事項: 私語のほか、正当な理由のない遅刻、許可のない入・退室、携帯電話・イヤホンの使用、およびその他の教員が指定する不良受講行為。				
授業概要 (Course Outline)					
日本企業の経営は、国内のみに目を向けるやり方では成り立たなくなって久しい。会社規模の大小を問わず、グローバルな視点での経営感覚が必要である。本講義では、基礎理論のみならず、日本や世界の経営に関する最新のトピックス、新聞などマスコミの話題を含む知識・テーマなどを取り上げて詳細に解説する。					
授業を通して修得できる力 (Competency Goals)					
知識・理解の観点 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Multiple Culture / Different Culture	○			
	人類の文化・社会と自然に関する知識の理解 Human Culture / Society / Nature	○			
汎用的技能の観点 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening				
	数量的スキル Mathematics				
	情報リテラシー Information Literacy	○			
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	○			
	問題解決力 Problem Solving	○			
態度・志向性の観点 Personal Qualities	建学の精神 University Founding Philosophy	○			
	自己管理能力 Self-management	○			
	チームワーク Teamwork				
	リーダーシップ Leadership				
	倫理観 Ethical Sense	○			
	市民としての社会的責任 Social Responsibility				
	生涯学習力 Lifelong Learning	○			
到達目標 (Objectives)					
企業の国際的な経営活動の現状と課題を理解し、より専門的な学習の橋渡しになること、並びに今後の就職や経済活動に役立つことをめざす。					
事前学習の内容	授業の前に、かならず参考書・配布資料の該当部分を熟読しておくこと。				
事後学習の内容	授業の後に、講義内容について参考書・配布資料を読み直すこと。				
能動的学習【アクティブラーニング】の内容 (Active Learning)					
①学生の氏名で呼び、質問したり、また質問を受け付けたりなど対話型の授業を心がける。 ②授業時間外においても、研究室またはE-mailで学生の質問を受け付ける。 ③中間テストを行い、採点したうえで学生に返す。学生のわからないところを把握し、わかりやすく解説する。なお、中間テスト時、学生の感じたことや意見などを自由に書く欄を設け、かれらの要望などに最大限対応する。					
教員との連絡方法・オフィスアワー (Office Hour)					
c-gan@kiis.ac.jp まで気軽にメールを寄せてください。 なお、緊急時は、いつでも研究室(357)まで訪ねてきてください。					
その他 (Others)・外部試験との関連・学習の確認(ポートフォリオの作成と提出)について					
外部試験: 英語または中国語の能力検定試験の受験を促す。試験結果を成績評価の対象とする。 試験日時・場所に関しては、公開試験が行われる学内または近隣自治体の公開試験会場の利用を勧める。 学習の確認: ポートフォリオシート「科目別履修確認チェック表」に必要事項を記入して、定期試験終了日までに甘までメールで提出してください。					

授業計画 (Course Schedule)			
テーマ Theme			
第1回	企業のグローバル化と国際経営		
第2回	現代企業の分類及びしくみ・構造		
第3回	企業のマネジメント及び資金調達		
第4回	企業の基本経営戦略の策定		
第5回	企業の戦略と海外進出		
第6回	企業のM&Aと戦略提携		
第7回	企業のマーケティング戦略		
第8回	中間テスト		
第9回	企業、とりわけ多国籍企業の組織構造		
第10回	企業の意識決定		
第11回	モチベーションとリーダーシップ		
第12回	グローバル化と人材戦略		
第13回	日本企業の成り立ちおよび経営方式の特徴		
第14回	日本企業と欧米など先進国企業の比較		
第15回	日本企業と中韓など途上国企業の比較		
第16回	定期試験		
教科書 (Textbooks)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
特定の教科書を使用しない(レジュメを配布する予定)			
参考文献 (Reference Books)			
書名 Title	著者名 Author	出版社 Publisher	ISBNコード ISBN Code
『グローバル化の経営学』2007年5月	丹野勲・榊原貞雄	実教出版株式会社	978-4-407-31079-5 定価(本体2000円+税)
成績評価方法 (Grading Criteria / Method of Evaluation)			
定期試験(持ち込み不可)を実施する。出席回数が全体の3分の2未満(つまり5回以上欠席)の者には受験資格を許可しない。成績評価は、中間テストの成績をも考慮する(中間テストの配分割合は50%)。母語が英語または中国語でない者が日本国内で英語または中国語の能力検定試験に合格した場合、難易度を考慮し、5~15点を加点する。			